

# 県政150周年記念 絵画・作文コンクール（中学校作文部門）

## 【最優秀賞】

### 作品テーマ「何度も訪れたいくなる長崎」

長崎市立三川中学校 2年 <sup>ゆのうえ</sup>湯之上 <sup>りん</sup>凜

僕が思い描く長崎県の未来の姿は、何度も訪れたいくなる長崎です。

長崎は、昔から観光で発展し栄えてきました。でも、古くからある観光スポットは、何度も足を運ぼうと思えるような所が少ないように感じます。だから、今ある観光スポットをより魅力のあるものにリニューアルし、また新たな施設を増やすことによって、何度も訪れたいくなるよう考えていく必要があります。

僕が考える具体的な案の一つは、ただ観光客が歩いて案内を見てまわるだけのスポットでは、そこにまつわる歴史上の人物がCGで再現され、ガイドしてくれるVRを使った臨場感あふれる観光にすることです。また、各観光スポットには、セットで名物となるグルメを開発し販売します。もちろん美味しいに越したことはないのですが、長崎には海外から初めて伝わった食べ物がたくさんあるので、当時のままの味を再現し試食してもらうことで、たとえ美味しくなくても記憶に残る観光にしてもらうこともできます。

それから、海に囲まれた恵まれた環境を利用した海にまつわるレジャー施設を作ることです。春から夏にかけてはマリンスポーツを楽しんでもらいます。ジェットスキーでバナナ型のボートを引っぱってもらうバナナボートや、アメンボのように水上を進んでいくアクアスキッパーなどが僕のおすすめです。また、国内最大級的水上アスレチックを作るのもいいと思います。秋から冬にかけては、主に釣り体験の案内を行います。地元の名人から情報を得て、狙う魚の釣れるスポットへ案内します。そして、釣った魚を調理してくれる店は多いと思いますが、自分で調理できる場所は少ないと思うので、調理指導をしてくれる人を紹介するのもいいと思います。

また、遊覧船で島を観光しながら、オリエンテーリングを行うのはどうでしょうか。定期的にポイントを変更することで県民もリピーターになるかもしれません。

これまで挙げてきたことを実行することによって、観光業が今まで以上に盛り上がると思います。そこから長崎に興味を持ち、住みたいと思う人が出てきたり、県民も住み続けたいという気持ちになれば、減少傾向だった長崎の人口が増加傾向に持ち直し、活気付いていくと思います。

自分たちが、これからの長崎を守り発展させていく立場となるので、小さなことから長崎のために出来ることを考えていきたいです。

## 【優秀賞】

### 作品テーマ「私の理想の長崎県」

長崎市立三川中学校 3年 <sup>さいが</sup>雑賀 あおい

今年、長崎県は県政百五十周年を迎えます。私は、自然が豊かで、食べ物がとても美味しく、歴史的な文化や伝統が残っており、なにより観光名所が豊富であるなど魅力あふれる長崎県が本当に大好きです。そんな長崎県に私は大人になっても住み続けたいと思っています。

私には自分が大人になった時に長崎県はこうなってほしいと思うことが三つあります。

一つ目は、誰もが安心して暮らせる平和な場所の象徴になることです。そのためには、差別や偏見、いじめや犯罪の被害をうけて、つらい思いや悲しい思いをする人をなくすことを目指した取り組みが必要だと思います。例えば、誰でも相談できるチャイルドラインなどの支援機関をより多くの人に知ってもらい気軽に活用できるようになれば良いなと思っています。そして長崎県に住む人が毎日安心して生活することができて、家族や大切な人と楽しく笑顔で過ごすことができる地域になってほしいです。

二つ目は、地球に優しい県になることです。今、世界では、地球温暖化が急速に進んでいることが問題となっています。そのため世界では持続可能な開発目標つまり、SDGsを設定し、昨年日本では、レジ袋有料化などの取り組みをスタートさせました。長崎県でも県全体でCO<sub>2</sub>削減に向けて、プラスチックの消費量を減らすなど未来の長崎の人々のために、環境を守る取り組みがなされています。自然の力や資源に感謝しながらみんなで力を合わせいつまでも自然豊かで美しい長崎を守り続けていきたいと思っています。

三つ目は、どの世代も助け合って生活できることです。日本では少子高齢化が進み、高齢者を支える人手が不足し、支える人の負担が大きくなっていることが問題になっています。だから介護の知識を幅広い世代の人に知ってもらえるイベントなどがあれば支える人の負担を低減できると思います。いつか誰にも負担がかかことなく、子ども、大人、働く人、高齢者みんなが輪になって助け合っていきいき生活できる町になってほしいなと思います。

このように私は将来、この三つが実現している長崎になってほしいなと思います。まずは自分から、環境や社会問題についてよく学び、解決策を知ったり考えたりして長崎の役に立てるようになりたいです。そのために、人に思いやりを持って接したり、エコにつながることを小さなことから意識して行動するようになりたいです。

そして大好きな長崎県にこれからもずっと住み続けたいと思います。